



## 申14号 2020年度賃金引き上げ等に関する 申し入れ第2回団体交渉を行う！①

JR東労組は、この間様々な施策に真摯に向き合い、職場の組合員の努力により、建設的な議論を積み上げてきました。そして労働力の質が高まっています。それが会社の成長の原資になっています。組合員の努力に対する評価と今後の投資をしていくべきだということを以下の項目の中で議論を行いました！

- 第1項** 2020年4月1日以降のJR東労組組合員の基本給を一律6,000円（定期昇給を含まない）引き上げること。  
**第2項** 2020年4月1日以降のグリーンスタッフ組合員の基本賃金を6,000円引き上げること。  
**第3項** 2020年4月1日以降のエルダー組合員の基本賃金を6,000円引き上げること。

（組合）変革 2027 においても社員の幸福の実現が 1 つのテーマになっている。社員への還元には賃金が含まれるべきだ。

（会社）社員の幸福実現は基本給改定が全てではない。各種手当、働き方の見直しも行っている。賃金改定に特化するのではなく、どのような形で幸福実現が出来るか判断したい。

### 台風 19 号・新型コロナウイルスの影響について

（組合）台風 19 号の影響は 300 億円近い特別損失を計上しているが今後の見通しはあるのか。

（会社）長野新幹線車両センターの本格復旧はこれからである。機構分の被害額は確定しておらず、その点も勘案して通期の業績見通しを下方修正している。

（組合）台風の影響は保険で一定程度補填されると考える。台風が与えた影響は一過性であり、中長期的には大きな影響とはならないのではないのか。

（会社）保険がいくら下りるかは保険会社とのやり取りになる。想定される災害への備えはしてきているが、車両が水没する事態は想定を超えていた。

（組合）新型コロナウイルスの影響は、感染の拡大にもよるが、長い視野では限定的ではないのか。

（会社）新型コロナウイルスの影響は、専門家でも意見が分かれている。旅客輸送では確実にマイナス方向になっている。定期外収入が減少しており楽観視はできない。

（組合）2002 年には SARS で一時期減少はあったものの、長くは続かなかった。目先のことを過大評価してはいけないのではないのか。

（会社）中長期的な業績にどう影響するかは冷静に見る。生産性向上はベアの一番の構成要素である。職責・職能・等級など生産性に対する 1 年間の取り組みを見ていく。

### 物価上昇について

（組合）消費者物価指数について総合指数やコアの部分は、2015年度比で100%を超えている。消費税増税だけではなく、その他も増加している。

（会社）昨年10月、消費税が増税し生計費等が増えており、そこは認識の1つになる。指標からは影響が大きいとは認識していない。